

# 需要に応じた米生産に向けての対応について ～「(仮称)近江米生産・流通ビジョン」の策定～

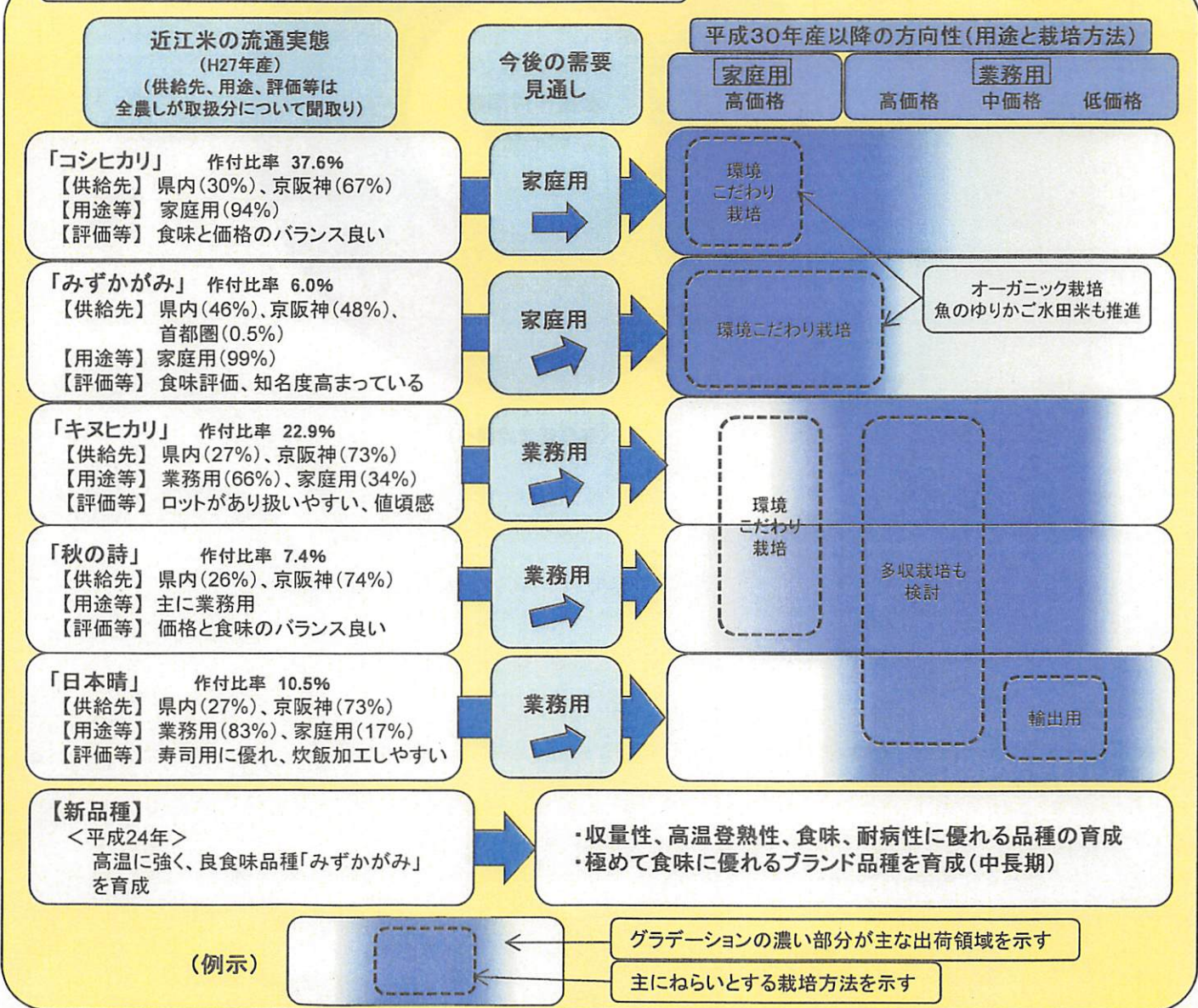
## 趣旨

- ・「米政策改革」に対応するため、平成30年産以降における近江米の生産・流通の方向性を示す指針として、近江米振興協会において策定作業を進めている。
- ・近江米流通実態調査の結果や県内外の卸売業者の意向・評価等を踏まえ、「マーケットイン」を強く意識したものとし、「主要品種別」に「用途別」、「栽培方法別」の生産の方向性等を定める。
- ・このビジョンをもとに、関係機関・団体が「需要に応じた生産」を農家に啓発・推進するとともに、JA等による農家への「作付提案」につなげる。

## 計画期間と対象範囲

- ・米政策改革がスタートする平成30年産からの概ね3年を目途とし、今後の需要動向によって見直しを行う
- ・対象とする近江米は、JA等の集荷業者が取扱う主食用米を中心とし、糯や酒米等の特定用途の米を含む

## 「(仮称)近江米生産・流通ビジョン」(イメージ)

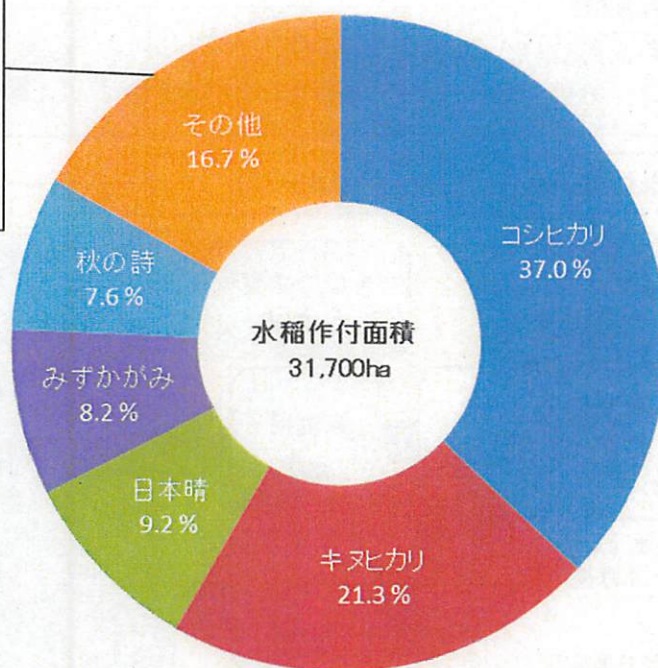


### 今後のスケジュール(予定)

- H29年10月  
～H30年2月 近江米振興協会の「近江米生産戦略会議」で協議
- ～H30年2月 JA等集荷団体との調整  
→平成30年産に向けた「作付提案」を先行して実施
- H30年2月 環境・農水常任委員会において報告
- H30年3月 環境・農水常任委員会において報告
- H30年3月 ビジョン策定

### 平成29年産米品種別作付割合

【その他品種】	
「滋賀羽二重糯」	2.8%
「ミルキークイーン」	1.6%
「あきたこまち」	1.4%
「ゆめおうみ」	0.9%
「レーク65」	0.6%
「ハナエチゼン」	0.5%
その他	8.9%



(農業経営課調べ)